

「自分の命は自分で守る」 コロナ禍の災害対応 適切な避難行動をとりましょう！

● 災害の恐れがあるとき、これまでのように「避難所」に多くの人が集まると、新型コロナウイルスの感染リスクが高まります。安全な場所であれば「避難所」への避難以外にも考えられます。

* 頼れる知人などいれば

避難場所を分散させるため、安全な場所に住んでいる「親戚・知人」など頼れる人がいれば、そこに避難することも考えましょう。



* 在宅避難も

安全な場所にあるマンションなど頑丈な建物で、高い階に住んでいる人は、自宅にとどまって避難生活する「在宅避難」も考えましょう。

* 安全な場所での車中泊も

安全な場所で一時的に車の中で過ごす「車中泊」や避難所の敷地内で一時的にテント泊などもあります。その場合は定期的な運動や換気などを心がけましょう。またそうした避難ができるよう日ごろから水・食料など各種用品の備蓄に心がけましょう。

* 不安があればためらわず避難所へ

周囲に不安があれば、ためらわず避難所に移動しましょう。

● 避難所に行くとなったら

* 準備されている非常持ち出し品に追加し、マスク（無ければ鼻と口を覆える大きさの布）・体温計・アルコール消毒液・ウエットティッシュなどを持っていきましょう。

* 避難所に入るとき検温、アルコール消毒、健康チェック、別場所への移動など従来とは異なった各種指示があると思います。必ず指示に従いましょう。

* 避難所運営は、あらゆる場面で人手不足になりがちです。「3密の回避・手洗い消毒・咳エチケット・会話を避ける」などを厳守したうえで自らの健康管理を行い、避難者自身が避難所運営を行いましょう。



南地域のたからもの vol.33

～山の神を祀るお社～

南地域のたからもの vol.25 でご紹介した、農業と深い関わりのあるカミサマ、「山の神」を石碑だけでなく、お社を建てて祀っている場所があります。それは現在の御供所二丁目。朝晩は大之瀬橋を越えて布袋駅への往来するため、多くの車や自転車が通る東西の道から一本南に入ると、大きな木が生い茂った場所があり、小さなお社が建っています。ここの旧字名は「山神」。まさに「山の神」を祀るお社です。南側に鳥居があり、そこから入るとお社、その裏には「山神」と刻まれた石碑があります。お社の創建年代はわかりませんが、この地は江戸時代、九郎右衛門新田と呼ばれた村があり、その氏神として祀られはじめたそうです。春に山から訪れて「田の神」となり、村に五穀豊穡をもたらして秋になるとまた山へと帰っていく「山の神」。旧字名、お社、石碑と残っている九郎右衛門新田の「山の神」さまは、今も私たちを見守っています。



「山の神」

青パト隊員絶賛募集中！

地域の安全、子どもたちの安全を守っていただける方を募集しています。

『南地域 安心・安全マップ』を活用し、地域内約40か所のパトロールポイントを中心に、青色防犯パトロール車での巡回をおこなっています。

青色防犯パトロール講習を受けていなくても参加できます。

一緒に活動していただける方、ご連絡ください。

■連絡先 役場地域協働課 ☎95-1691

■活動回数 月1～2回程度



～青色防犯パトロール講習会に参加しました～

7月4日（土）行われました講習会は、20名弱の参加者で講習時間は約1時間程でした。

参加して感じたことは、高齢者が多く自分もあと何年協力できるか心配です。そのため後継者の確保及び隊員募集を積極的に推進していかななくてはいけないと思いました。